

プロジェクト リース

項目 本日の審議事項

## 本日の審議事項

- 2016 年 8 月に公表した中期運営方針では、我が国の会計基準を国際的に整合性のあるものとするための取組みの一環としてリース会計を掲げており、これを踏まえて、第 375 回企業会計基準委員会（2017 年 12 月 20 日開催）において我が国におけるリースに関する会計基準の開発に着手するか否かについて検討することが承認され、第 387 回企業会計基準委員会（2018 年 6 月 21 日開催）及び第 78 回リース会計専門委員会（2018 年 6 月 8 日開催）より検討を開始している。
- 第 387 回企業会計基準委員会及び第 78 回リース会計専門委員会では、リースに関する会計基準の開発に着手するか否かを判断するにあたり、「我が国における会計基準の開発に関する予備的分析」（以下「予備的分析」という。）について検討を行った。
- その後、当該予備的分析に関連する以下の論点について詳細に検討を行った。

論 点		企業会計基準 委員会	リース会計 専門委員会
(1) 会計上の考え方	・すべてのリースに係る資産及び負債の認識	第 389 回 (7 月 24 日)	第 80 回 (7 月 20 日)
	・未履行契約との関係	第 391 回 (8 月 27 日)	第 81 回 (8 月 23 日)
	・リース負債と負債の定義の関係	—	第 84 回 (11 月 6 日)
	・借手モデルにおけるリースに係る費用の認識のパターン	第 388 回 (7 月 6 日)	第 79 回 (6 月 26 日)
(2) 財務諸表利用者のニーズ	・アナリストからの意見聴取 ・格付機関における財務諸表の調整	第 392 回 (9 月 12 日)	第 82 回 (9 月 6 日)
(3) 適用上の判断の困難さ	・リースの識別	第 389 回 (7 月 24 日)	第 80 回 (7 月 20 日)
	・リース期間の決定	第 391 回 (8 月 27 日)	第 81 回 (8 月 23 日)
(4) 作成上のコスト	・IFRS 第 16 号を適用する場合に想定される財務諸表作成者のコスト	第 388 回 (7 月 6 日)	第 79 回 (6 月 26 日)

## 審議事項(3)-1

論 点		企業会計基準 委員会	リース会計 専門委員会
(5) 重要性	・重要性に関する事項	第 389 回 (7 月 24 日)	第 80 回 (7 月 20 日)
(6) その他の検討事項	・IFRS 第 16 号の早期適用企業の事例分析	第 391 回 (8 月 27 日)	第 81 回 (8 月 23 日)
	・財務諸表本表と注記の関係	—	第 84 回 (11 月 6 日)
	・減損会計の適用	—	第 84 回 (11 月 6 日)
	・連結財務諸表に含まれる親会社と在外子会社の財務情報の整合性	—	第 84 回 (11 月 6 日)
	・貸手の会計処理	—	第 84 回 (11 月 6 日)

- 本日は、今後、会計基準の開発に着手するか否かを判断する上で考慮すべき事項及び他に検討すべき事項の有無について、第 83 回リース会計専門委員会（2018 年 10 月 15 日開催）及び第 84 回リース会計専門委員会（2018 年 11 月 6 日開催）で聞かれた意見を踏まえて検討を行う。
- なお、第 392 回企業会計基準委員会（2018 年 9 月 12 日開催）で聞かれた意見については審議事項(3)-3 に記載している。また、第 83 回リース会計専門委員会で聞かれた意見については審議事項(3)-4 に、第 84 回リース会計専門委員会で聞かれた意見については審議事項(3)-5 に記載している。

以 上